

科目名 (英)	衛生管理Ⅲ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	大久保 幸美
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期 全15コマ
学科・コース	美容師科					曜日・時間	水曜日(1限2組・2限1組・3限4組・4限3組)
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
「公衆衛生・保健」に関しては、保健所や行政の役割などを整理して学ぶ。特に保健に関しては様々な統計が混在しているため、それぞれの定義をしっかりと解釈し、曖昧な理解を回避する。「感染症」については暗記事項が多いため、スライドや事例などを挙げ、学生たちが記憶しやすい授業を行う。「消毒法」についても暗記が基本となるが、その際は、フローチャートなどを作成し、見やすくわかりやすい資料をもとに説明していく。消毒法の実際については、希釈計算に対する苦手意識を持たないよう、実験方式で行うなどメリハリのある授業を心掛け、学生たちの実践的理解を目指す。							
【授業を通じての到達目標】							
公衆衛生・感染症・消毒法ともに、暗記事項が非常に多く、混乱しやすい科目ではあるが、実生活や社会の動向と併せて説明することで、学生たちに明確なイメージを持ってもらうことを目標とする。確認テストの回数を多くし、学びを複数回上書きすることでより確実な知識として身につけてもらう。中間テストや期末試験については、国家試験の動向を踏まえ、頻出問題を繰り返し解くことで、本試験に向けて正解率の精度を上げていくことを達成目標とする。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
教科書・講師作成PP資料(毎回プロジェクター使用)				各回のテスト範囲を事前に伝えることで、自宅学習・事前学習の動機づけとする。			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	1編 1章 公衆衛生の概要						
2	1編 2章 保健					30問(2択問題) 2点満点	
3	2編 1章 環境衛生					30問(2択問題) 2点満点	
4	3編 1章 感染症総論 1節 2節					30問(2択問題) 2点満点	
5	3編 1章 感染症総論 3節					30問(2択問題) 2点満点	
6	3編 2章 感染症各論					30問(2択問題) 2点満点	
7	中間テスト① 前半まとめ					20問(4択問題) 10点満点	
8	4編 1章 消毒法総論					30問(2択問題) 2点満点	
9	4編 2章 消毒法各論					30問(2択問題) 2点満点	
10	4編 3章 消毒法実習 1節(計算)					30問(2択問題) 2点満点	
11	4編 3章 消毒法実習 2節・3節(実際)					30問(2択問題) 2点満点	
12	5編 1章・2章					30問(2択問題) 2点満点	
13	中間テスト② 後半まとめ					20問(4択問題) 10点満点	
14	衛生管理 総復習 期末試験対策						
15	期末試験 衛生管理 全体範囲					30問(4択問題) 60点満点	
【特記事項】衛生管理に関しては、前半の感染症までの範囲で一度確認テストを行い、後半も消毒法の範囲で確認テストを行う。(中間テストとして計2回)2年次は試験回数を多く持ち、国家試験への意識の向上を目指したいと思います。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)/E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	化粧品化学Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	西島 明菜
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 水
学科・コース	美容師科						
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
美容師実務経験10年以上、衛生管理・化粧品化学・運営管理の教員資格を持った教員が担当します。 国家試験科目ですが、実際のサロンワークでも応用して活用できるよう、パワーポイント・プリントなどを用いて授業を進めていき、クイズなども出しながら授業を展開。 国家試験を意識した演習問題も解いていながら理解を深め、国試合格を目指していきます。							
【授業を通じての到達目標】							
教科書の内容を国家試験の出題傾向や、問題の出方を把握。最終的に合格出来るレベルになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
化粧品化学の教科書・プリント(授業に応じて配布)							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	化粧品概論						
2	化粧品原料						
3	化粧品原料					小テスト 5点	
4	基礎化粧品						
5	基礎化粧品					小テスト 5点	
6	中間テスト前復習・演習						
7	中間テスト					中間テスト 20点	
8	メイクアップ用化粧品						
9	頭皮・毛髪用化粧品						
10	頭皮・毛髪用化粧品						
11	頭皮・毛髪用化粧品					小テスト 5点	
12	芳香製品と特殊化粧品						
13	基礎科学・総復習					小テスト 5点	
14	定期テスト前演習・復習						
15	定期試験					配点 60	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)/ E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)			
				●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	文化論Ⅱ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	半沢幸子
学科・コース	美容師科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期 木
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
文化論教員資格を受けた教員が美容文化論の講義をする。理容業・美容業の歴史を理解し、さらに髪型・化粧・服装の変遷流行を学ぶ。そこに見える風俗と時代背景とのつながりを読み解き、流行のメカニズムを知り、これからの時代のデザインを起こすヒントを得る。文化論は美容師国家試験科目であり意欲をもって取り組み修得するものとする。							
【授業を通じての到達目標】							
西洋のファッション文化史を、古代エジプト～現代2010年までを修得する。礼装の種類を覚える。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
文化論教科書				教科書、プリント等による予習復習			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	第4章 1古代エジプト 2ギリシャ・ローマ 3ゲルマン					2	
2	第4章 4中世ヨーロッパ					2	
3	第4章 5近世(16世紀)6近世Ⅱ(17世紀)7近世Ⅲ(18世紀)					2	
4	第4章 8近代1 9近代Ⅱ 10現代Ⅰ 11現代Ⅱ					2	
5	第4章 12現代Ⅲ 13現代Ⅳ14現代Ⅴ 15現代Ⅵ 16現代Ⅶ					2	
6	中間試験 対策授業						
7	中間試験 第4章より設問					中間試験20	
8	大5章 礼装の種類					2	
9	全範囲 練習問題・回答・解説					2	
10	全範囲 練習問題・回答・解説					2	
11	全範囲 練習問題・回答・解説					2	
12	全範囲 練習問題 回答・解説					2	
13	定期試験 対策授業 前編						
14	定期試験 対策授業 後編						
15	定期試験 第1章～第6章までの国家試験レベルの問題					定期試験60点	
【特記事項】 状況により変更の可能性もあります。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容技術理論Ⅳ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	市川 てるみ
		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	後期
学科・コース	美容師科					曜日・時間	水
【学習の目的】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
美容師としてサロンワーク、スタジオワーク、コンテストの経験を経て、現在もフリーのヘアメイク、美容師として活動する幅を広げている。 教員として15年携わり、美容師国家試験の合格を目指す学生の為、現場の現状を伝えながら、美容技術についての知識を深めていく。							
【授業を通じての到達目標】							
美容師国家試験合格を目指し、各分野の美容技術を理解できるようになる。国家試験問題に対応できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
美容技術理論Ⅰ・Ⅱ教科書、筆記用具（マーカー含む）							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	12章 花嫁、着付け						
2	11章日本髪						
3	メイクアップ						
4							
5	10章 メイクアップの道具 ベースメイクアップ						
6	10章 各部メイクアップ まつ毛エクステンション					5点	
7	今までの復習、振り返り、確認						
8	中間テスト					20点	
9	中間テスト振り返り、復習、確認						
10	9章ネイル技術、概論						
11	9章 ネイル技術道具、手順						
12	9章ネイル技術注意事項					5点	
13	8章 エステティック概論						
14	今までの復習、振り返り、試験対策						
15	定期テスト					60点	
【特記事項】				【評価について】			
				●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点			
				●評価			
				A評価（90～100点）/B評価（80～89点）/C評価（70～79点）/D評価（60～69点）			
				E評価（出席不良・評価資格喪失）/F評価（0～59点・不合格）			
				●評価方法			
				評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容実習 総合	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	山下・小笠原・井坂・萩尾
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (4)	開講区分 曜日・時間	後期 火・金
学科・コース		美容師科					
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
国家試験実技科目 実務経験20年以上の教員が担当 第2課題であるオールウェーブセッティングを合格レベルに到達させ、国試審査基準を理解した作品に作成するための技法を指導							
【授業を通じての到達目標】							
国試課題の科目を合格点までもっていく。レベルアップと不得意箇所の改善。審査項目を取り入れる作品作り。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
道具一式 衛生用具一式 ノート 教科書 筆記用具							
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	1年次の復習 確認 全頭35分完成 7段構成確認						
2	1段目 2段目 3段目までタイムアップ スカルプチュアカールの完成度をあげる。3段目までのバランス強化						
3	フィンガーウェーブ強化 7段ウェーブ幅 くりぬき部分の確認						
4	4段目 5段目強化 リフトカールの完成度をあげる。						
5	6段目メイボールカール					5	
6	7段目クロッキノールカール カールの位置とピンニング強化					5	
7	中間試験 全頭30分 7段ウェーブバランスとカールの位置					20	
8	ウェーブ リッジ強化 毛流れハーフウェーブになっているか 割れや重なりがないか						
9	左右ウェーブと中央カールのエリアの確認 3等分になっているか						
10	ステムの方向性 リフトカールのステムおさまりの見直し						
11	耳まわりのウェーブ リッジ 幅の強化 右側ウェーブ強化						
12	審査項目意識しながら 完成度をあげる						
13	全頭25分を仕上げる。不得意箇所の改善					5	
14	定期試験に向けてタイムの確認 タイムアップ 見直し					5	
15	定期試験全頭25分					60	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	就職講座Ⅱ	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	神谷・野村・鈴木・尾崎
学科・コース		授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 木
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する）							
サロンでの実務経験のある職員が、就職活動に必要なスキル・国家試験に対する取り組み方などをグループワークを通して授業展開を実施する。 美容師（職業人）として必要な身構え・気構え・心構えを理解し、目標に向けて、行動する事が出来る。							
【授業を通じての到達目標】							
国家試験への意欲を高め、授業に臨む姿勢をつくることができる。 就職活動が活発になり、意欲的に取り組むことができる。 学校行事を通して目標設定やスケジュール管理を行えるようになる。国家試験の概要を理解し、必要な知識を身につけていく。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	「社会人基礎力」を高める① 前に踏み出す力 チームビルディングのグループワーク(ペーパータワー)						
2	「社会人基礎力」を高める② 考え抜く力 過去の失敗から課題を発見し次回につなげる						
3	「社会人基礎力」を高める③ チームで働く力						
4	チームビルディングのグループワーク(LEGO)						
5	一般常識問題＜マナー＞					小テスト10点	
6	国試筆記模試問題					中間試験20点	
7	レクリエーション						
8	一般常識問題・ベルリンピックについて						
9	一般常識問題・ベルリンピックについて					小テスト10点	
10	国試筆記模試問題						
11	国家試験に向けたグループワーク(骨・筋肉かるた)						
12	国試筆記模試問題						
13	国家試験に向けたグループワーク(骨・筋肉かるた)						
14	国試筆記模試問題						
15	国試筆記模試問題					60点	
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	美容総合技術Ⅳ 国家試験課題	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	張・飯野・井坂・佐々木・松永
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 (2)	開講区分 曜日・時間	後期 火・金
学科・コース		美容師科					
【学習の目的】（※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する） サロンワークの継続、撮影ブライダルに携わる。美容学校での講師の経験を基に、現場で通用する技術、美容師免許取得の為の技術を教える。							
【授業を通じての到達目標】 国家試験合格レベルの技術を身に付ける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	国家試験に向けて衛生を覚える。						
2	全頭20分で仕上げる。						
3	全頭20分で仕上げる。						
4	全頭20分で仕上げる。						
5	全頭20分で仕上げる。						
6	模擬試験に向けての練習						
7	模擬試験						
8	国家試験第2課題決定。課題に沿っての授業。						
9	模擬試験						
10	課題に沿っての授業						
11	課題に沿っての授業						
12	模擬試験						
13	課題に沿っての授業						
14	課題に沿っての授業						
15	模擬試験						
【特記事項】 定期テストは模擬試験の結果を基に評価を行います。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	国家試験対策講座	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	半沢幸子
学科・コース		美容師科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	120 (4)	開講区分 曜日・時間
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)							
国家試験課題を長きに渡り指導する中で合格に導くノウハウを蓄積した教員が、実技第2課題であるオールウェーブセッティング技術を合格レベルに到達させる授業を行う。美容師への第一歩となる資格試験合格へ向け前期に習得した基礎にのっとりさらに完成度の高い作品をつくる。							
【授業を通じての到達目標】							
国家試験合格レベルの作品を全頭23分で仕上げる。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	正しい構成の確認					4	
2	ウェーブとリッジの完成度を高める					4	
3	中央の分け取り線とカールの接続を覚える					4	
4	カールの大きさとステム・おさまり・ビニングの強化					4	
5	全頭のスピードアップ 15分に挑戦する						
6	6段目と7段目のおさまりとビニングの強化					4	
7	中間テスト 国家試験と同採点をして合否判定レベルを知る					20	
8	国家試験第2課題						
9	国家試験第2課題						
10	国家試験第2課題						
11	国家試験第2課題						
12	国家試験第2課題						
13	国家試験第2課題						
14	国家試験第2課題						
15	国家試験第2課題						
【特記事項】 ●評価は、模擬試験の成績等も加味して総合判断する。				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点(模擬試験の成績を考慮) 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			

科目名 (英)	国家試験特別講座	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	張・飯野・井坂・佐々木・松永
		授業 形態	演習	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分 曜日・時間	後期 火曜日
学科・コース		美容師科					
【学習の目的】(※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) サロンワークの継続。撮影ブライダルに携わる。美容学校での講師の経験を基に、現場で通用する技術、美容師免許取得の為の技術を教える。							
【授業を通じての到達目標】 国家試験合格レベルの技術を身に付ける。							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要					テスト配点	
1	全頭20分で仕上げる。						
2	全頭20分で仕上げる。						
3	全頭20分で仕上げる。						
4	全頭20分で仕上げる。						
5	全頭20分で仕上げる。						
6	全頭20分で仕上げる。						
7	全頭20分で仕上げる。						
8	国家試験第2課題決定。課題に沿っての授業。						
9	課題に沿っての授業						
10	課題に沿っての授業						
11	課題に沿っての授業						
12	課題に沿っての授業						
13	課題に沿っての授業						
14	課題に沿っての授業						
15	課題に沿っての授業						
【特記事項】				【評価について】 ●小テスト20点、中間テスト20点、定期試験60点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点) D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			